

避難実施計画
(東通村稲崎地区)

東通村長
月 日 時 分現在

1 避難指示の内容

東通村の稲崎地区の住民は、指示に従って避難すること。

2 原子力緊急事態の概要

緊急事態該当事象発生日時 令和 年 月 日 : (頃)

発生場所 東北電力(株)東通原子力発電所1号機

被害状況 現在のところなし

放射線等の状況 周辺環境への放射性物質の放出なし

放射性物質の拡散予測

気象状況(現在) 天候: 気温: 風向: 風速:

気象状況(避難時) 天候: 気温: 風向: 風速:

その他特記事項

3 避難の概要

避難対象地域 東通村稲崎地区

避難先市町村 青森市

避難方法 自家用車及びバス

避難開始予定日時

避難完了予定日時

その他留意事項等

4 関係機関の状況

措置の状況 警察

消防

その他

公共交通機関

5 避難者数(単位:人)

※避難行動要支援者数の目安:平成27年要介護3~5、身体障害者1・2級、療養手帳A、精神障害者保健福祉手帳1・2級の単身世帯、難病患者、自治体が支援を決めた方及びその付き添い者

| 地区名 | | | 稲崎地区 | 合計 |
|---------------------------|--|--|------|----|
| 避難者数 (令和4年12月1日現在) | | | 44 | 44 |
| うち避難行動要支援者の 目安* | | | 0 | 0 |
| うち外国人等の数 (令和4年12月1日現在) | | | 0 | 0 |

| 6 一時集合場所、避難施設 | | | | |
|-----------------------------|--|---|--|--|
| 6-1 一時集合場所（自家用車による避難が困難な場合） | | | | |
| 避難対象地域 | 稲崎地区 | | | |
| 一時集合場所名 | 稲崎地区多目的集会施設「稲崎の館」 | | | |
| 所在地 | 野牛字稲崎平21-1 | | | |
| 連絡先（電話等） | - | | | |
| 連絡担当者 | 防災安全課 | | | |
| 一時集合場所への交通手段 | 徒歩 | | | |
| その他留意事項等 | 災害により一時集合場所が被災する可能性がある、または被災により使用できない場合は再検討する。 | | | |
| 6-2 避難施設 | | | | |
| 避難先市町村 | 青森市 | | | |
| 避難施設名 | 青森東高等学校 | | | |
| 所在地 | 青森市原別三丁目1-1 | | | |
| 収容可能人数（人） | 710人 | | | |
| 連絡先（電話等） | 017-736-2444 | | | |
| 連絡担当者 | | | | |
| その他留意事項等 | | | | |
| 7 避難手段 | | | | |
| 輸送手段 | 鉄道 ・ <u>バス</u> ・ 船舶 ・ <u>自家用車</u> ・ その他（ ） | | | |
| 輸送手段の詳細（バスについて） | 種類（車種等） | バス（定員40名とした場合） | | |
| | 台数 | 稲崎地区： 台（約 名） ※他地区と同乗 | | |
| | 輸送可能人数 | 最大 人（定員40名とした場合） | | |
| | 連絡先 | 下北交通(株)むつ営業所：0175-23-3111 (株)尻屋観光本社：0175-28-5555 | | |
| 輸送力配分の考え方 | 避難行動要支援者の数でバスの必要台数目安を積算 | | | |
| その他の避難手段 | 避難行動要支援者 | 自家用車の乗合、バス、福祉車両等 | | |
| | その他（入院患者等） | 医療機関ごとの車両、またはバス等 | | |
| 8 避難経路 | | | | |
| 避難に使用する道路 | 主要地方道むつ尻屋崎線→国道279号線→国道4号線→青森市へ | | | |
| | 実施担当機関 | むつ警察署等 | | |

| | | | |
|---------------|----------------|--|-------|
| 交通規制 | 規制場所 | 国道 338 号線原子力発電所周辺、青森県道 7 号むつ東通線の近川入口など | |
| その他留意事項等 | | | |
| 9 避難誘導方法 | | | |
| 地区名 | | 稲崎地区 | |
| 一時集合場所への避難方法 | 誘導の実施単位 | 地区ごと | |
| | 交通手段 | 徒歩 | |
| | 一時集合場所 | 6-1 参照 | |
| | 集合時間 | 月 日 : | |
| | その他（誘導責任者等） | - | |
| 避難施設への避難方法 | 誘導の実施単位 | 地区ごと | |
| | 輸送手段 | 自家用車及びバス | |
| | 避難経路 | 8 参照 | |
| | 避難先市町村 | 青森市 | |
| | 避難施設 | 青森東高等学校 | |
| | 避難開始予定日時 | 月 日 : | 月 日 : |
| | 避難完了予定日時 | 月 日 : | 月 日 : |
| | スクリーニングポイント | | |
| | その他（誘導責任者等） | - | |
| 避難行動要支援者の避難方法 | 誘導の実施単位 | 地区ごと | |
| | 避難行動要支援者への支援事項 | 避難行動要支援者名簿個別計画（策定中）を参考に対策を検討する。 | |
| | 輸送手段 | 自家用車の乗合、バス、福祉車両等 | |
| | 避難経路 | 8 参照 | |
| | 避難先市町村 | 青森市 | |
| | 避難施設 | 青森東高等学校 | |
| | 避難開始予定日時 | 月 日 : | 月 日 : |
| | 避難完了予定日時 | 月 日 : | 月 日 : |
| | その他留意事項等 | | |
| 10 対応要員の配置計画 | | | |
| 配置場所 | 各地区の一時集合場所 | | |
| 人数 | 村職員 2 名程度 | | |

| | | |
|-----------------------|---|--|
| 担当業務 | 広報活動及び住民の避難誘導 | |
| 連絡先 | - | |
| 11 残留者への対応 | | |
| 確認対象地区 | 各地区 | |
| 確認者 | 村職員、消防団等 | |
| 確認開始予定日時 | | |
| 確認終了予定日時 | | |
| 確認方法 | 地区内への広報及び見回り | |
| 12 安定ヨウ素剤の予防服用 | | |
| 安定ヨウ素剤予防服用の指示の有無 | 予防服用の指示有り ・ 予防服用の指示無し | |
| 安定ヨウ素剤の配布の有無 | 配布を受けた（有） ・ 配布を受けていない（無） | |
| 安定ヨウ素剤の配布（予定）場所 | 有の場合 | |
| | 無の場合 | |
| 安定ヨウ素剤服用時期 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 国が決定した方針に従い、または村の独自の判断により、直ちに服用できるよう、県と連携し、事前配布も含めた必要な措置を講じる。 ・ 今後、国による検討結果も踏まえて随時見直しを行うものとする。 | |
| 13 避難誘導時の食料の支給 | | |
| 食事時間 | | |
| 食事場所 | | |
| 提供する食事の種類 | ・ 避難住民への水・食料の支給については予め関係者間において協議する。 | |
| 実施担当部署 | 健康福祉課 | |
| 連絡先 | 0175-28-5800 | |
| 14 避難時の留意事項（住民への伝達事項） | | |
| 基本事項 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 避難時には貴重品や身分証明書、最小限の着替えや服用中の薬などを携行すること。 ・ 服装は、長袖の上着、ズボン、帽子、手袋、マスクなどを身につけできるだけ皮膚の露出を避けること。 ・ 隣近所に声を掛け合い助けあって避難すること。 ・ 家畜やペットについて、可能であれば長期の餌・水などを与えてよいが、人の避難が最優先であること。救助については、避難後に行政等の指示に従うこと。 ・ 可能な場合は2日分程度の食料を持って避難すること。 | |
| 時期等の特性 | | |
| 15 誘導時の留意事項（職員等用） | | |

| | |
|-----------------|---|
| 基本事項 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 職員は冷静に行動し、住民の安全の確保や適切な情報伝達に努めること。 ・ 防災服や腕章等により、立場や役割を明確にすること。 ・ 住民にわかりやすく状況を説明し、無用な不安を与えないこと。 |
| モニタリング | <ul style="list-style-type: none"> ・ 避難誘導中、定期的に測定し、測定結果を避難住民に伝えるとともに、対策本部にも連絡し、情報共有を図る。また、住民に伝える際には、わかりやすい説明を心がけ、無用な不安を与えないこと。 |
| 16 その他 | |
| 避難実施計画の住民への伝達方法 | 防災行政無線、広報車等を活用する。 |
| 避難実施計画の伝達先 | 別添配布先一覧 |
| 職員間の連絡先 | 別添電話番号表一覧 |
| 17 緊急時連絡先 | |
| 災害対策本部 | 電話： FAX： |

附属書類

- 1 「避難単位毎の避難施設」
- 2 「電話番号表一覧」
- 3 「伝達先一覧表」